



患者の変化に素早く気づき、
適切に対応するために重要な3つのスキル

フィジカルアセスメントに 必要な知識と根拠を持った 徴候・症状の解釈

※講義時間:260分

わかる→できるになる3つスキル

- 患者の身体的問題点を明らかにするために必須のフィジカルイグザミネーション
- 読み取った患者情報から根拠があるアセスメントをする方法と注意点
- 原因となる解剖生理を紐解くことで臨床にすぐ生かせる知識と対応力



川崎竹哉氏 独立行政法人国立病院機構
茨城東病院 胸部疾患・療育医療センター
診療部 診療看護師

2002年に茨城東病院に入職。手術室、CCU、呼吸器外科病棟で勤務し、2012年よりICU副看護師長として勤務。2016年に東京医療保健大学大学院修士課程を修了、同年ナース・プラクティショナー (NP) 資格認定試験に合格。その後、呼吸器外科の診療看護師 (JNP) として現職。また、院内・院外の研修講師として、看護師対象の呼吸器の研修 (解剖生理、病態生理やフィジカルアセスメント)、診療看護師対象のPICC (末梢留置型中心静脈カテーテル) の研修を積極的に実施している。

プログラム

1. 徴候・症状を解釈するために身につけておきたい知識と技術
 - 1) フィジカルアセスメントの知識を振り返ろう
 - ① フィジカルアセスメントの目的
 - ② フィジカルアセスメントで得られる情報
 - 2) 実践で役立つ情報収集の方法とフィジカルイグザミネーションの実践方法
 - ① 情報収集を行う際に気をつけるべき患者への配慮
 - ② 情報収集の具体的方法と聞き出すべき情報
 - ③ バイタルサインの測定方法
 - ④ 視診・打診・聴診・触診の基本的な知識と実践方法
2. **事例からもう一步踏み込んで考える**
徴候・症状が私たちに伝えようとしている事象の解釈
—頭痛・腹痛・呼吸困難・動悸を中心に—
 - 1) 「痛み」の起こる機序—発生部位・性質・期間から紐解く—
 - 2) 「呼吸困難」の起こる機序—低酸素血症・高二酸化炭素血症から紐解く—
 - 3) 「動悸」の起こる機序—不整脈・洞性頻脈・心因性から紐解く—
 - 4) 各徴候・症状を理解するために必要な解剖生理
 - 5) 各徴候・症状の解釈に必要なフィジカルイグザミネーションの具体的方法
 - 6) 収集した情報が示す根拠と解釈
3. まとめ～適切な処置・対応につなげるために

録画配信

[視聴期間]

オンライン

約2週間 申込2~3日後から
視聴できます。

受講料
(税・送料込)

一般 13,000円 会員 10,000円

※教材:PDFテキスト付(ダウンロード、プリントアウト可)
冊子テキスト(104頁)ご希望の方は別途2,500円

プログラムや講師プロフィールなどセミナーの詳細はこちらから▶

日総研 17123

検索

関連雑誌

現場実務のスキルアップ!

現場で即、使える! 後輩指導にも役立つ!

重症集中ケア

A4変型判 96頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,900円(共に税込)

Web教材+実務専門誌(定期刊行物・会員制)

今後の特集

- アセスメント力を伸ばす! 気づきを与える! 後輩を伸ばす質問のコツ[6-7月号]
- pros & consで考える! クリティカルケアのあり方[8-9月号]
- 重症化を回避する! エキスパートの思考[10-11月号]

優れた接遇サービスを実践する病院・介護事業所を表彰



日総研 **接遇大賞**

応募は9月30日まで。発表は11月。

これまで受賞された全48施設の特色を
Webで公開中

接遇大賞

検索

国家資格の受験資格を取得することができる養成所

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

精神保健福祉士養成所 通信課程

お問合せ

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索